

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年12月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300641
法人名	有限会社 広優
事業所名	グループホーム 織月の郷
所在地	鹿児島県鹿屋市川西町2483番地 (電話) 0994- 42- 6667
自己評価作成日	平成29年10月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「一日一笑」を心がけ、楽しい雰囲気の中でのんびりと笑顔で生活できるように努めています。また、利用者様に寄り添い、利用者様が「ここに居てもいいんだ」と安心できる居心地の良い場所を提供できるように努めて行きます。そして、忘れてもいいので、「その時・その瞬間に」「良かった・嬉しい・楽しい」を体験してもらい、外出を多く取り入れ、気分転換を図り、職員も一緒になって幸せな日々を送れるようになりたい。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は老人施設や協力医療機関と密接な関係を築き上げている。
- ・町内会に加入し、地域行事に積極的に参加する一方、夏祭りなど事業所の行事にも民生委員や子ども会・家族が参加し、ボランティアの受け入れなどもあり、地域と親しく交流している。
- ・災害対策として定期的に避難訓練を実施している。安全対策に運営推進会議での助言が活かされている。
- ・代表者や管理者は職員育成に力を入れ、職員の働く意欲を引き出している。職員は勤務年数も長く離職者も少ない。職員間のコミュニケーションも良く、利用者が笑顔で生活できるようケアの質の向上を目指している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、玄関に掲示し、パンフレットやホームだよりにも載せている。	地域との関連性を踏まえた独自の理念で、玄関やホール・パンフレット類に掲示している。月1回の職員会議で意識づけし、年明けに振り返り、理念を共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	夏祭りは、地域の方々も参加できるようにしている。今年は町内会の夏祭りをみんなで見学に出かけた。	町内会に加入し、夏祭りなど地域行事に積極的に参加し、認知症についての相談を受け助言などを行っている。地域にある高校の体育祭にも来賓として出席している。中学生の体験学習や福祉体験・ボランティアの受け入れなども行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入所希望の電話相談に応じた際や、学生の福祉体験を受け入れた際に認知症の人の理解と協力を求めている。又外に出て行かれる利用者様に付き添い声を掛けてもらえる事で、地域での理解が少しずつ出来ているのではと思われる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員、家族、利用者、行政関係等の幅広い参加を得て、2か月に1回開催している。事業所の活動内容や計画を報告したり、いろいろな情報や意見をもらい、ホームの運営サービスの向上に活かしている。</p>	<p>会議は2ヶ月毎に開催している。事業所の状況やヒヤリハット・外部評価の報告などを行い、参加者から多くの助言や提案が出され、避難経路を変更したり、居室の入り口に身体介助の状態を表示するなどサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>事故報告書など速やかに報告したり、後見人の相談をしたり、相談し易い関係である。</p>	<p>市担当者には、事業所の実情や取り組みを伝え、連携を深めている。市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡し合っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホームの方針として、拘束の無いケアに取り組んでおり、日中は鍵をせずに、安全で自由な生活を楽しめるように支援している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会でマニュアルに沿って勉強会を実施し、事例研修を行い、職員の共通認識を図っている。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。日中の玄関の施錠はせず、外出しそうな様子を察知したら、見守りや同行など職員間の連携で安全な暮らしを支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に積極的に参加し、全員の職員に周知するよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	日常生活支援事業を利用している利用者様もおり、必要性については職員は理解できていると思う。権利擁護については今年度は研修会に参加できていないため、事業所内で勉強会をする予定である。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要説明書などは、入所事前に十分説明を行い、理解納得して頂いた後に署名捺印をしてもらっている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	外部に第三者委員会を定めており、玄関に掲示しているが、意見や要望は殆ど聞かれない。家族は直接管理者や職員に話されており、出された要望や意見は職員間で話し合い、運営に反映している。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族とは何でも言える関係作りに努めている。面会時や家族会・電話・運営推進会議が意見を聞く良い機会となっている。出された意見を職員で話し合い、個々人の楽しみや運営に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>最低年一回は、代表者と職員が面談を行い、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。</p>	<p>代表者や管理者は、ミーティングや職員会議等で、職員の意見や提案を聞いている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。年1回は代表者と職員の個人面談も実施している。意見やアイデアが出しやすい雰囲気を作り意見を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人員基準を満たしたうえで、職員の状況に合わせて臨機応変に勤務交代や希望休も柔軟に「とりくんでいる、</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業に支障のない範囲で、研修などに参加させてもらい、意識改革や質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームの交流会や研修に参加して、困難事例や分からないこと等、迷ったことがあったら連絡を取り合い、他の事業所の状況等教えてもらい情報交換しながらケアの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ゆっくりとした時間の中で、じっくりと傾聴し、ご本人の思いや気持ちを受容できるように努めている。また、決して焦らずに、時間をかけて信頼関係を深めていけるように支援している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所前に方針を伝え、家族の理解と共感がもらえるよう努め、また、ご家族がいつでも気軽に相談してもらえるように、一緒にお茶を飲んでくつろげるよう配慮している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	十分なアセスメントを行い、可能な限り、様々な選択肢を提案し、ご本人・ご家族にとって最適なサービスが提供できるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護する・されるの関係ではなくて、お互いに助け合って生活するという関係作りに努め、どんな時でも「ありがとう」と感謝の気持ちを忘れないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の来所を心から歓迎し、ご本人を支えていく為の協力関係を大切にしている。家族の協力は重要であり、双方で生活支援する事の大切さを伝え、家族への感謝も忘れずに支援している。誕生会や家族会・夏祭り等で家族との交流を深めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>それぞれの要望や意向を確認し可能な限り、叶えている。面会時は居室でゆっくりとくつろげるよう配慮している。</p>	<p>これまで大切にして来た馴染みの人や場所を把握し、地域のお茶飲み会や集落の老人会などに参加している。手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族の協力で外出や外食・墓参などの際にも支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う合わないの関係を把握し、仲介や声かけの配慮に努め支援している。食事の席も必要に応じて替えている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>行事への参加を呼びかけたり、電話を入れて様子を伺うようにしているが、実際はなかなか思うようにいかない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中の表情や会話で、思いを汲み取り、本人の意向の把握に努めている。入浴時は、ワンツーマンで会話が出来、本人の意向の確認に適している。	日々の関わりの中で個々人とのコミュニケーションを図り、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。楽しく会話できる環境づくりに努めている。困難な場合は家族・関係者からも情報を得、利用者の視点に立って職員で話し合い、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人と話したり、家族との面談時に生活歴や暮らし方などの情報収集を行い、これまでの経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック、食事摂取量、排泄状況等を把握し、体調など必ず申し送り、情報を共有しながら、把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のミーティング時に、利用者様の変化や思いを全職員で共有してモニタリングや介護計画に反映している。	本人・家族の思いを聞き、主治医の意見を参考に職員で話し合い介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録は、特別な事があつたら細かく記録しているが、利用者様との触れ合いを多く持てるように、普段の記録は簡潔にしている。連絡帳や申し送りノートを活用し、情報を得て介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>受診は、本人・家族の要望に応じて職員が代行及び薬取りなども支援している。また、自宅への送迎も可能にしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>踊りや三味線のボランティアを受け入れ豊かな暮らしを提供できるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>3名様は在宅支援の往診で、他は、本人・家族が信頼しているかかりつけ医の受診を支援している。体調不良時には職員も家族と一緒に同行し、ホームでの生活状況などを医師に説明し、病状の把握に努めている。</p>	<p>受診は、本人や家族の希望を大切にしている。月2回の協力医療機関の往診や歯科の往診も受け入れ、訪問看護師との連携も図り、適切な医療が受けられるよう支援している。他科受診は家族の協力を得て支援している。受診結果は家族と共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>全職員で健康状態の把握に努め、早めの受診を心がけている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中も職員による見舞いを行うと共に、病院の相談スタッフと情報交換を行っている。回復状態を詳しく聞く事や、退院時の指導を受ける事で、安心して退院できるような、環境づくりを提供している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>看取りや重度化ケアに関する同意書を頂いており、本人の状況を見ながら、家族と相談し、特老や他の施設の申込みを早めに行ってもらっている。</p>	<p>重度化や終末期について、ホームが支援できる指針を作成し、家族等に合意を得ている。協力医療機関や老人施設と連携を取りながら利用者・家族等が安心して過ごせる体制づくりに努めている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命救急の講習会に参加し日頃から緊急時に対応できるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災避難訓練を行っており、今年には町内会の民生委員の方々の協力もあり、一緒に避難訓練を行う事が出来た。</p>	<p>年2回消防署指導のもと、昼夜想定での避難訓練を実施している。避難場所や避難通路・通報装置・連絡網などを確認している。地域住民や運営推進会議の参加者も一緒に行っている。スプリンクラーや緊急避難装置も設置され、緊急連絡網に町内会長が登録するなど協力体制ができています。災害時の水・米・乾燥麺・缶詰などの備蓄がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室に入室する場合は必ず、ノックや声かけを行い、許可を得ている。また、トイレ時もプライバシーを損なわないように、必要以上の見守りは行わず、外で待機するようにしている。	マニュアルに沿って勉強会を行い、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけをしないことや自分がされて嫌なことはしないケアに取り組んでいる。入浴やトイレ誘導・入室時などの羞恥心に対する配慮も心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望を汲み取り、職員の押し付けにならないように十分気を付けているが、職員の思いが強くなる場合があり気を付けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外出好きな利用者様の為にドライブをしたり、花見に出かけたりしているが、重度化により参加者が少なくなってきた。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣介助の際は、どれが良いか本人に確認しているが、返事が無い場合職員の好みになりがちだ。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえや盛り付け・配膳など出来る方が少なくなった。それぞれの食事形態を考慮し提供している。芋の好きな方が多く食卓にあるととても喜ばれる。	差し入れや旬の食材を使用し嗜好に配慮した献立で、食事形態も工夫している。野菜の皮むきなどの下ごしらえや下膳などを職員と一緒にいたりしている。個々の希望の誕生食に家族や友人を招待している。季節の行事食など食事が楽しみなものになるよう工夫している。干し柿作り等を利用者と一緒に行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は常に心がけている。水分の制限がある方や家族が煎じ薬を持参されるところもあり、それぞれに応じて対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後必ず口腔ケアを行い、夜はポリデント使用し清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンに応じ、声かけやトイレ誘導・排泄介助など行っている。排泄の失敗があっても、さりげなくシャワーや清拭を行い、自尊心を傷つけないよう配慮している。	排泄パターンを把握し、声かけや誘導でトイレでの排泄や排泄の自立を支援している。排泄の失敗処理や排泄後の清潔保持にも努めている。水分調節や食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳や繊維の多い芋を提供し、病院から処方された下剤については、排便の様子をみながら加減している。運動を心がける利用者様もいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴可能なので、本人の都合でいつでも入浴できる。1対1で話せる貴重な時間なので、ゆっくり接するよう努めている。	個々人の体調や希望に沿って毎日入浴し、1対1の入浴であるため、ゆったりとした会話ができ利用者に喜ばれている。事故がないように職員間で連携して見守りを徹底している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも休息できるようにしている。また、入床や起床は無理強い事無く、本人の意思に沿ったケアを支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員がいつでも確認できるように、薬の説明書は個人ファイルに添付してある。服薬の変化に注意して、連絡帳や申し送りノートで情報を共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	身体レベルの低下で一部の利用者様に限られてしまっているが洗濯物のたたみを手伝って下さる。必ず「助かります」と声をかけ喜びを味わえるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>運動会や季節の花を見学バラ園や紫陽花ロードなどに出かけているが身体レベル低下と共に外出が少なくなってきた入居者様もいる。</p>	<p>日常的には園内や近隣の散歩を楽しんでいる。年間計画を立て、地域行事や運動会の見物・近くの公園・バラ園・紫陽花ロードへのドライブなどに出かけている。家族の協力で外出や外食・墓参などに出かけ、閉じこもらない支援に努めている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自由に買い物できるように、所持金を預かっているが、ほとんどひとりでは、お金を使われる事は無い。買物を頼まれる利用者様はいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙のやり取りは無いが電話はおひとりでかける利用者様もいて、仲介や取次を快く支援し、見守っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には、テレビ、堀コタツ、ソファが備えてあり、空気清浄器や空調等で快適に過ごせるようにしている。いつでも居心地良くくつろげるよう配慮している。</p>	<p>共用空間は天井が吹き抜けになっており、天窓からの採光や換気・音・温度・湿度に配慮が行き届き、清潔である。随所にソファ・椅子があり、テレビ鑑賞用の部屋もあり炬燵のコーナーもある。季節行事の写真や花・作品が掲示されて家庭的で利用者に馴染みの空間作りとなっており、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>思い思いの場所でくつろいでおられる。仲良しの利用者様同士が談笑できる場所となっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>私物を持ち込んで、自分らしい部屋づくりをしてもらいそれぞれ個性的な部屋となっている。</p>	<p>居室はベッドや洗面台・押入れが備え付けで、掃き出し窓である。テレビや鏡・位牌・寝具・時計・テーブル・家族の写真・ぬいぐるみなど、馴染みのものが持ち込まれ過ごしやすい配慮がされている。居室入口に利用者の身体状況等が表示されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は整理整頓に努め、安全かつ自由に行動できるように気配りしている。ホールが広い分歩いて運動をされる利用者様もおられる。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない